

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども発達支援 ハートシード (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年9月16日		～ 令和7年10月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	令和7年9月22日		～ 令和7年10月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種の専門職を配置しています。児童指導員・保育士・公認心理師・言語聴覚士・看護師等が配置され、それぞれの専門性を発揮しながら、チームで個々のお子さまの発達や特性に応じたきめ細やかな支援を提供しています。協力医療機関との連携もしながら支援を行う体制も整っています。	お子さまの発達状況を多角的な視点で捉えられるように、専門職同士の意見の出し合いと連携を行っています。活動前・活動後にお子さまの情報共有や支援内容の確認、役割分担についての話し合いが充実したものになるように努めています。必要に応じて、保護者様や医療機関を通して、学校側との共有を行っています。	それぞれの職種の専門性を高め、より良い支援が行えるように、今後も事業所内外の研修等に参加していきます。
2	たくさんの体験や人とのやりとりを積み重ねることが出来るように、活動内容を考えています。お子さまの充実感・好奇心・達成感・自己肯定感が育つ環境作りに努めています。おもちゃや本も充実させています。	お子さまの主体性を尊重した活動となるように、子ども発信の遊びや意見にも柔軟に対応しながら、おやつ作りやサーキット遊び、公園遊び、畑で野菜作り、近隣の商業施設へのお買い物等を日頃の活動に取り入れています。長期休みの時には普段の活動とは異なる、お祭りごっこや遠くへのお出掛け等のイベントを行っています。	お子さま1人1人にとって、より充実して楽しい居場所である為にはどうしたら良いか、職員間での話し合いや振り返りを丁寧に行っていきます。お子さまの声や表情の変化に気付いていけるように、子ども達との関わりを深めていきます。
3	お子さまの育つ環境が安心安定したものになるように、ご家族と日頃からのやりとりを密に行っています。	半年に一度の面談では、お子さまがどのような半年間をハートシードで過ごしたかについて、具体的にまとめたものをお見せしながらお話をしています。また、ご家族からご相談したいという要望が出た際にも、迅速に対応しています。必要に応じて、発達検査や個別対応等の支援を検討しています。	お子さまとご家族の気持ちに寄り添いながら、支援を行っていただけるように、今後も日頃の送迎等の少しの時間でも、コミュニケーションが取れるように意識していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容によっては、活動スペースが十分に確保できない場合があります。メンバーや内容に適した環境になるように、その都度試行錯誤を行っています。	法令に遵守した利用人数ではありますが、お子さま1人1人が成長したことが、時に手狭に感じる要因となっています。今年度は、異常な暑さが長かったこともあり、例年に比べて前期は公園遊びの機会を多く設けることが出来ませんでした。	机や巧技台の位置等を工夫し、のびのびと遊べるように努めます。来年度も、お子さまの安全管理を第一にしながら、気候が穏やかな時に外遊びやお出掛け等の活動を増やしていきたいと思っています。
2	事業所の前に駐車場がありますが、送迎にご家族が車でいらした時に、ご利用者様分は確保していない為、車体の大きさによっては駐車しにくいことがあります。	マンションの駐車場をいくつか借りてそこに停めていただいています。保護者様のご協力で迎えに来られる方の人数が増えたことや、別の活動を行っているクラスと時間が被ることがある為、同時には停めにくいことがあります。	昨年度、ご家族が安全に駐車しやすいように、分かりやすい目印を置いたり線を引いたり工夫を行いました。今後も、職員が車の誘導をしたり、止められない場合があることを事前にお伝えしたりしていきます。
3			